

利用者らの力作並ぶ

「さくらピア」で春こいまつり

27日まで豊橋

豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」で、「さくらピア春こいまつり」が始まった。3階大会議室を会場に、館利用者らの作品を展示している。27日まで(21、22日休館)。

障害者の理解啓発や東日本大震災の復興応援などを目的に、全館あげて開く恒例の催し。従来は1日だけの日程で、展示やステージ発表、模擬店などがあった。昨年からは新型コロナウイルス対策

として「3密」を防ぐため、展示会のみを日数を増やして開いている。

館内の文化教室や自主グループの計13団体が出展。陶芸や絵手紙、さをり織り、書、七宝焼、革工芸、寄せ植え、クラフトなど約100人による力作120

点が室内を彩った。壁面にはこの1年を振り返り、活動の記録なども貼り出した。

会期が長くなつたため、鑑賞のチャンスが増えたと来



利用者らの力作が並ぶ会場
＝さくらピアで

館者からも好評だ。「コロナが終息しても、このまま複数日での展示を考えていきたい」と職員ら。期間内の来場者を対象に、抽選で30人に菓子担当たる「お楽しみプレゼント」も実施している。

【田中博子】